

「平常時・災害時共通 災害に強い地方創生ネットワーク事業」の今後の展開に関する意見募集について／意見の概要と本市の考え方

No.	分類	意見の概要	本市の考え方
1	機能面について 広報・PRについて	<p>この事業のさらなる推進を望みます。</p> <p><理由> ・平常時・災害時での目的が明確であり期待できる。</p> <p><希望> ①ナブネットの接続範囲が半径200メートルでは狭いのでは？ 基地局の増設等を踏まえ、接続しやすくして頂ければと思う。同時接続台数80台も少なく感じます。</p> <p>②この事業について、私の周囲の方々（20代～80代）に尋ねてみましたが知っている方は10%くらいでした。夕刊デイリー等で目にしているも、他人事のようにしか思っていないのが一般的ではないでしょうか？PR方法を再考して広く伝えていただきたい。</p> <p>③最後に、こういう資料はおよそメリットしか書かれていないのが普通ですが、現状での懸案事項や想定できる問題点がある方がリアリティがあって良いと思います。</p>	<p>①国内においては電波法で無線の送信出力の限度が定められているため、半径200メートルという接続範囲は、例えばアメリカのスペースX社が提供するスターリンクが半径50メートルであるのと比べても広く、現時点では国内電波法の範囲内において最も広い部類のものであります。</p> <p>また、同時に接続する際の80台とは、あくまでも推奨する台数であり、物理的には256台が接続可能ですが、通信速度を十分に確保するため80台を推奨したいと考えており、またこの台数についても同一価格帯の製品の中では最も高い水準であります。今後、状況を見て増設も検討していきたいと思います。</p> <p>②ナブネットの運用開始以降、記者発表や広報「のべおか」での掲載、各地区の区長会や消防団幹部への説明等を行っており、今後もあらゆる機会をとらえて周知を図ってまいります。</p> <p>また、市民の皆さまに自分事として関心をもっていただけるよう、今年度にナブネットを活用した防災訓練を実施する予定であり、広く参加を呼びかけてまいります。</p> <p>③耐災害性、経済性等において、現在の国内外の技術ではこのナブネットが最も優れています。今後、基地局やアクセスポイントを増設することで、接続エリアを拡充していく考えです。</p>
2	広報・PRについて 今後の展開について	<p>①自立分散型システムの整備事業、画期的な整備はありがたいです。</p> <p>災害時には強い味方ですね。横文字が多くなった今、理解できない横文字での内容が多いため、高齢者でも理解できる優しい言葉を使って、色々な事を説明してほしいと思います。</p> <p>（高齢者から、『横文字ばかりで意味が分からない』と相談を受けます）</p> <p>②SNSの時代となり電気や電波が途絶えるだけで、ひと昔以上の混乱が起きる事が予想されます。IT関係には詳しくないですがWi-Fiエリアの拡充は早急に必要だと思えます。</p> <p>もちろんセキュリティ対策が最も重要なため、ランニング費用も年々高騰する事と思えます。</p> <p>衛星通信によるバックアップができる事はすごいです。</p> <p>今後いつ起こるか分からない災害、十分過ぎるほどの備えが必要だと思えます。</p> <p>利用開始後は誤作動や足りない事はもあると思いますが一つ一つの積み重ねや修正で、災害に強い街づくりができる事を期待しております。</p>	<p>①市民の皆さまにご理解を深めていただけるよう、表現を工夫しながら情報発信を行ってまいります。</p> <p>②大規模災害時には携帯電話基地局の倒壊や電話、インターネット回線の混雑により安否確認の連絡が取りづらいことが想定されます。そのような状況においても、ナブネットは衛星通信を活用することによりスマートフォンやLINEなどがつながる状態を維持することができますので、引き続き利用可能箇所を増やしてまいります。なお、ランニング費用を含む事業費についての市の財政負担を軽減するよう各種補助金、地方債等の活用を今後も検討してまいります。</p>
3	ご意見	<p>災害時はもちろんのこと、平常時でも運用できることは大変重要なポイントと思えました。連携大学や企業の方々と調査研究・協議を進めていただき、全国に誇れるようなシステム整備を早期に実現してください。</p>	<p>強い耐災害性を持つナブネットは、総務省所管の国立研究開発法人である「情報通信研究機構（NICT）」が研究開発し、特許を有するネットワーク技術であり、本市が全国に先がけて導入したところ。引き続きNICTをはじめ、関連企業、大学等と連携しながら「誰一人取り残さない災害に強いまちづくり」を実現してまいります。</p>

4	ご意見	<p>せっかくスマートシティ構想の意見を述べる機会をいただきましたが、79歳の私には荷が重すぎます。ただ災害時に市民の皆様が、安全に避難できて、外部との安全確認の連絡等できるスマートシティ構想すごいですね。大賛成です。何も意見かけず申し訳ありません。</p>	<p>ナーブネットは平常時の活用はもちろん、災害時には、スマートフォンやパソコン等につながるインターネットが不通になっても、衛星回線を活用することで常時つながり続け、迅速な災害復旧や安否確認、避難生活に必要な生活必需品等の提供を可能とすることができますので、広く周知を図ってまいります。</p> <p>また、能登半島地震を受け、今年度主要避難所等を中心に基地局の増設を行い、今後も資料にありますように増設していく考えであります。引き続き本事業の推進を図ることで安心・安全を確保してまいります。</p>
5	ご意見	<p>知識不足のため、お役に立てるような答えが見つからず申し訳ありません。ただ私たち家族は新潟中越地震を経験していて、その時は知らない土地での大地震で怖さしかありませんでしたが、地元の方々がとても優しく助けてくれたこと・・・そのことを今回思い出しました。備えることと優しい気持ち、助け合う心を大事にできたらと思います。役立つ意見を考えつかず本当にすみませんでした。</p>	
6	<p>機能面について</p> <p>議会説明について</p> <p>契約について</p>	<p>①民間企業で、例えばKDDIのスターリンクは、自衛隊で利用されている実績があるのに、導入を検討すらしないのは大きな疑問を抱かせる。市長の考えを知りたい。</p> <p>②市長と市議会が問題について検討する会を傍聴したが、市議からの質問に対する市長の回答が、論点がずれていて噛み合わず、市民の立場からは、呆れるような内容が多かった。全て議事録の公開を行っているのか知りたい。</p> <p>③ナーブネットは、すでに市内各所に設置されていて、固定する工事が行われているのに、市は事前に工事に関する積算を行わず、提案先からの言い値で導入していて驚いた。市議からもその点について何度も質問があったが、「積算を行わないのは、工事がなければ必要ない」と、関係部署の担当者も読谷山市長も繰り返していた。可動式の機械を導入したのならその説明も分かるのだが、固定設置の工事をしていて工事が無いからという理屈が通るのか、甚だ疑問で納得いかない。工事が無いから、工事完了前の大きな額の支払いが可能だったという説明もあったので、なるほどそれを実行するために工事が無いの一点張りなのかと納得した。この点について、何か追加の説明があれば知りたい。</p> <p>市が積算をしないで工事費を一式というようないい加減な処理をされることに、正直怒りを覚える。</p> <p>最後に、ホームページで意見募集の際、「提出されたご意見は、内容ごとに整理・分類した上で、これに対する市の考えとともに市のホームページで公表します。」と明記されているが、市民の意見として募集したものを、意見の意図が伝わらない形に細切りにして掲載することに強い憤りを感じています。人の意見を操作する行為は、やめてください。以前提出した意見が、全く意図が伝わらない物にされて分類集計されていて驚きました。今回は、1から3ですでに分類したものを提出していますので、これ以上切り刻まずに回答をお願いします。</p>	<p>①アメリカのスペースX社が提供するスターリンクの機能はWi-Fiの環境の提供のみであるのに対し、ナーブネットは各種サービス（情報収集及び提供、のべおかCOIN付与、安否確認、避難所への物資輸送など）を提供することができます。</p> <p>また、スターリンクの接続範囲が半径50メートルであるのに対し、ナーブネットは半径200メートルと広いうえ、衛星回線利用料についてもスターリンクが63,000円（月額/2TByteプラン）であるのに対し、ナーブネットは5,500円（月額）と安価になっています。</p> <p>さらに、外国の民間企業がサービス提供を行うのに比べ、我が国の国立法人がサービスを提供することから、継続性、安全性の面でも大きな優位性があります。現に海外企業が衛星通信サービスを提供しているIPSTARは今年の12月末まででサービスを終了しますが、外国の民間企業のサービスであるため日本の顧客から意見を言っても受け入れられず、一方的に打ち切られてしまうこととなります。</p> <p>以上のことから、機能面においてもコスト面においても、さらには安定性の面でも優位性があるナーブネットを導入したところであります。</p> <p>②検討する会とは、おそらく市議会のことと思いますが、市長は質問に対し常に誠意をもって答弁しています。延岡市議会においては、本会議のほか全ての議事を原則として公開することとしており、本会議録は、市議会の会議録検索システムで検索、閲覧することができます。委員会など他の会議につきましては市議会へお尋ねください。</p> <p>③ナーブネットは総務省所管の国立研究開発法人である「情報通信研究機構（NICT）」が研究開発し、特許を有するネットワーク技術であり、そのサービス展開のための配置についても特許に基づく対応が必要となりますが、市では同法人との協議及び契約関連規定などに基づき適切な形で契約を行っております。</p> <p>また、パブリックコメントにおいていただいたご意見及びそれに対する市の回答は、市民の方々からのご意見の内容を分かりやすく公表するために、従来からこのような形で行っており、今後もこのような形で公表して行くことが適当であると考えております。</p>

7	機能面 について	<p>災害時には重要な通信手段として期待できると思いますが、広い面積をもつ延岡市の山間地域までは無理でしょうか？</p> <p>平常時は、観光客や出張者の使用は道の駅あるいは延岡駅が中心であり、市民が使用するのも一部地域、アンケート協力も限られた人達になるのではないのでしょうか。</p> <p>重要な地点避難所以外はランニング費用をおさえるように、人によるネットワーク作りも考えなければいけないと思います。</p>	<p>災害時にもつなげるネットワークの整備については、全ての市域を一律にカバーすることは困難ですので、市では主要な避難所や交通結節点ごとにサービスを拡げていく考えであります。</p> <p>今後も安全・安心な箇所を増やしていく形でサービスを拡げ、安全・安心なまちづくりを進めていく考えであります。</p>
---	-------------	--	--